

G OVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2830地区 2025-26 ガバナー月信

No.5 **11**
NOVEMBER



2025-26年度地区大会in青森大懇親会 10月26日(日)

contents

1. ガバナーメッセージ
6. 地区大会開催報告
11. ロータリー特別月間
13. 委員会活動
16. 各クラブの動き
19. ガバナー公式訪問
23. 会員動向
24. 会員数の増減と出席率
25. 地区行事予定
27. ロータリー活動写真募集
27. 編集後記

よいことのために
手を取りあおう



国際ロータリー第2830地区事務所
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内
TEL.017-732-2830 / FAX.017-732-2831
E-MAIL rid2830@outlook.jp

ガバナーメッセージ

ガバナー 米谷 恵司

7月2日花田直前ガバナーのホームクラブである五所川原ロータリークラブを皮切りに始まったクラブ公式訪問も10月14日鶴田ロータリークラブを最後に無事終了することが出来ました。本来ガバナーである私のホームクラブ青森モーニングロータリークラブが最後になるのが慣例ではありますが、ちょっとした連絡ミスの為そのようになったのかと思います。この度の公式訪問に私はある決意をもって臨みました。それは自身の車を自分自身で運転して訪問するということでした。その理由として自身が運転することで行程が記憶に残る為、再訪問がし易くなります。更にはアルコールが提供される夜例会に於いては冷静に意見交換と判断ができやすくなる事、そしてもう一つは体調管理です。アルコール摂取が慢性化していた体をこの機会に節制し、体調管理に努めるという事でした。お陰様で体重も減少し今回の健康診断でも前回より検査結果が良好で特に問題のない体であったことが成果であったと思います。まだガバナー年度始まって4ヶ月を経過したばかりです。今後自己体調管理を努めて参りたいと考えております。

10月11日～12日RI第2510地区(北海道西部)大会に行って参りました。ガバナーのホームクラブが函館亀田ロータリークラブの為函館で開催されました。「Revival 原点回帰」のテーマもと盛大に開催されました。RI第2510地区は函館から札幌近郊地域でクラブ数67、衛星クラブ3、会員数2,249名という当地区の倍の会員数を要する地区で圧巻の晩餐会がありました。これまでの慣例にとらわれず参加



者楽しんで頂けるアトラクションが満載でした。記念講演会は経済ジャーナリストの須田慎一郎氏の「日本経済の表と裏」のテーマのも60分がとても短く感じられた素晴らしい講演会でした。また「星空の大晩餐会」と銘打った晩餐会は民謡の王様といわれる江差追分に始まり、津軽三味線の大演奏では弘前ロータリークラブ所属の渋谷和生氏他6人による大演奏でした。そしてメインイベントでは参加したロータリアンなら誰でもご存じの「石野真子」氏のミニライブコンサートでした。最後にはテーブル毎に舞台上で写真撮影のサービスもあり皆さん大満足の様でした。今年当地区DTAでお世話になった出村知佳子パストガバナーにもお会い出来楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

さて青森、函館といえばおのずと知れた青函交流です。その歴史は古く青森県(本州側)と北海道(函館を中心とする道南地域)との間で古くから続く人的・経済的・文化的な交流のことを指します。その歴史は古代にまでさかのぼり、時代ごとに特色ある発展を遂げてきました。以下に時代ごとの概要をまとめます。

【1】古代～中世:北方交易の始まり

- ・ 古代から津軽(青森)と渡島(北海道南部)とは海峡を隔てた交易圏を形成していました。
- ・ アイヌ文化圏と和人の文化圏が交わる地であり、鉄器・布・酒・塩などの和人の産物と、毛皮・魚・昆布などの北方産物が交換されていました。
- ・ 中世には津軽十三湊(現在の五所川原市付近)が北方交易の拠点となり、津軽安藤氏(安東氏)が勢力を持ちました。

【2】江戸時代:松前藩と津軽藩の往来

- ・ 江戸時代になると、松前藩(北海道南部)がアイヌ交易を支配する一方、津軽藩(青森県)との経済的交流も活発化しました。
- ・ 特に昆布・ニシンなどの海産物は松前から津軽へ、米・酒・木材などは津軽から松前へと運ばれました。
- ・ 海峡を越える交通は主に和船による定期的な航路によって支えられ、「青森一函館航路」はすでにこの頃から存在していました。

【3】明治～昭和前期:青函連絡船の時代

- ・ 明治17年(1884年)、官設鉄道青森一函館間に青函連絡船が開設され、本格的な海上交通の時代が始まります。
- ・ 以後、連絡船は本州と北海道を結ぶ国策輸送ルートとして重要な役割を担いました。
- ・ 1954年には洞爺丸台風による沈没事故が発生し、青函航路の安全性が改めて問われる契機にもなりました。

【4】昭和後期～平成:青函トンネル開通による転換

- ・ 昭和63年(1988年)3月13日、青函トンネルが開通。
全長53.85kmという世界最長の海底トンネルで、青森県の竜飛岬と北海道の吉岡(現・北斗市)を結びました。
- ・ これにより青函連絡船は廃止され、鉄道による一体的輸送が実現しました。
- ・ トンネル開通後は青森一函館間の経済圏・観光圏の一体化が進み、文化交流も拡大しました。

【5】平成～令和:新幹線時代と広域連携へ

- ・ 2016年(平成28年)、北海道新幹線(新青森一新函館北斗間)が開業。
- ・ これにより、青森と函館は約1時間で結ばれるようになり、観光・教育・経済交流がさらに深化しました。
- ・ 両地域では「青函圏」としての共同観光PRや、青函合同イベント・スポーツ交流・学生交流などが活発に行われています。
- ・ また、将来的には札幌延伸(2030年度予定)により、本州と北海道の結びつきが一層強化される見込みです。

【まとめ】

青函交流は、「交易から交通へ、そして共創へ」と発展してきました。

古代の物資交換から始まり、江戸期の交易、近代の連絡船時代を経て、現在は**地域の連携と未来志向の交流**へと進化しています。青森と函館は、地理的にも文化的にも「最も近い隣人」として、これからも一体となった発展が期待されています。

更に2510地区大会の翌週10月18日～19日2710地区(広島・山口)の大会に参加して参りました。当地区とは進行方法等の違いがあり参考になる部分も多々ありました。ガバナー年度ではなくエレクト年度、ノミニー年度で他地区大会の参加をすればよかったかな?と思える程参考になる地区大会でした。成田ガバナーエレクト、岡山ガバナーノミニーは今年度中に数か所の大会に参加して頂くようアドバイスしたいものです。

先月10月25日(土)～26日(日)とうとう地区最大の行事、地区大会が開催されました。RI理事エレクトの四宮孝郎氏(RI第2660地区パストガバナー)を招聘し盛大に開催されました。当初RI会長代理の招聘を希望しておりましたが、開催まで40日になっても一向にRIより連絡が来ません。他地区同期ガバナーとも連絡を取りあった結果、当地区ではRI会長代理は招聘しないという結論に至りました。そして四宮孝郎RI理事エレクトに直接連絡を取り地区大会においての特別講師として来て頂く事の内諾を得たという経緯です。幸いにも四宮RI理事エレクトは当地区DTAにおいても講師として来て頂いた縁もあり、快諾して頂き大変ありがたく感謝に堪えません。今回の地区大会は皆様への詳細案内が遅れたにも関わらず、お陰様で二日間で地区内外より総勢300名を超える参加がありました。この地区大会は今年度の規定審議委員会で開催の有無は自由となりました。しかし地区ガバナーとして開催出来てとても有意義だったと感じさせて頂きました。特に初日25日は会長、幹事において四宮RI理事エレクトより「UNITE

FOR GOOD」のテーマで基調講演をして頂きました。その後、沼田ラーニングファシリテーターがコーディネーター役でパネリストは地区より選りすぐりの今井、源新、花田三名のパストガバナーをメンバーとして更には四宮RI理事エレクトにはアドバイザーとして参加して頂き「ロータリーの不易流行」のテーマのもと「変えてはならないもの、変えなければならないもの」を具体的にディスカッションして頂きました。私にとりましても大変参考になりました。翌26日第1本会議、第2本会議が慣例通り開催されました。特に第2本会議の各委員会からの発表では18人の委員長からの説明ありましたが、それぞれの特徴が感じられ興味深さを感じました。その後の記念講演では青森ねぶた第七代名人竹浪比呂央氏にご講演頂き我々の知らない青森ねぶたの魅力を知るきっかけとなりました。そして親睦を目的とした大懇親会では大いに盛り上がり当地区のパワーを感じました。この大会を通して感じたことは大会の開催意義と重要性を再認識いたしました。地区大会の開催は任意となりましたが私は今後も開催の必要性を訴え続けていきたいと思っております。

さて、11月は「ロータリー財団月間」です。RI理事会と財団管理委員会は毎年11月を「ロータリー財団月

間」に指定することに同意いたしました。

この月間中クラブは少なくとも1回の例会プログラムを、財団に関する内容とすることが求められています。RI理事会はロータリークラブとインターアクトクラブに、11月5日を含む1週間(月曜日～日曜日)を「世界インターアクト週間」として順守するように奨励しています。それはロータリークラブとインターアクトクラブを「顕著であり、国際規模の活動」に参加させるためです。

また、ロータリー財団(The Rotary Foundation, TRF)は、世界中のロータリアンの寄付によって支えられ、「世界理解、親善、平和の推進」を使命としています。教育や保健、貧困の克服、清潔な水の提供など、さまざまな奉仕活動を通じて、地域社会と世界に希望を届けています。

財団の代表的な活動であるポリオ根絶運動(ポリオプラス)は、ロータリーの長年の努力により、いまや世界のほとんどの地域で根絶達成までもう少しとなっています。私たち一人ひとりの寄付と関心が、子どもたちの未来を守る力になります。

この月間を機に、財団の目的や活動への理解を深め、クラブとして、また個人としての支援のあり方を改めて考えてみましょう。

「ロータリー財団は私たちの奉仕の心を形にする道具」です。皆さまの温かいご協力をお願いいたします。ここでロータリー財団への主な寄付の種類について説明いたします。

① 年次基金(Annual Fund)

- ・概要:最も基本的な寄付。ロータリー財団の運営や、地区・クラブの補助金活動(グローバル補助金・地区補助金など)の資金源になります。
- ・特徴:寄付後3年で地区に戻り、補助金として活用される(3年循環システム)。
- ・目的:世界中の人道的プロジェクトや奨学金などを支援。

② 恒久基金(Endowment Fund)

- ・概要:寄付金を元本として積み立て、その運用益のみを恒久的に使う基金。
- ・特徴:未来世代のための長期支援資金。
- ・寄付者称号例:
 - ベネファクター(Benefactor):恒久基金または財団を遺言等で1,000ドル以上支援を約束した人。
 - メジャードナー:累計寄付1万ドル以上など(後述)。

③ ポリオプラス基金(PolioPlus Fund)

- ・概要:「ポリオ根絶」活動のための専用基金。
- ・特徴:1985年に創設されたロータリーの看板事業。WHO・ユニセフ等と連携し、世界のポリオ根絶を目指す。
- ・用途:ワクチン接種活動・啓発・監視活動など。

④ 災害救援基金(Disaster Response Fund)

- ・概要:概要:自然災害や紛争による被災地支援のための基金。
- ・特徴:地区やクラブが「災害対応補助金」を申請して支援活動を行う。

💎 寄付に対する表彰・称号

称号・認定	内容
ポール・ハリス・フェロー(PHF)	財団に1,000ドル以上寄付、またはその名義で寄付された個人
メジャードナー(Major Donor)	累計1万ドル以上寄付
アーチ・クランフ・ソサエティ	累計25万ドル以上寄付
ベネファクター(Benefactor)	恒久基金または遺贈で1,000ドル以上支援を約束
ポール・ハリス・ソサエティ	年間1,000ドル以上寄付を継続する人

📍 寄付の使い道(概要)

寄付先	主な使途
年次基金	地区補助金・グローバル補助金の財源
恒久基金	将来の財団プログラム運営のための運用益
ポリオプラス基金	世界ポリオ根絶活動
災害救援基金	世界各地の緊急災害対応支援

2025-26年度 国際ロータリー第2830地区 地区大会in青森 開催報告

大会1日目 10月25日(土)

▶ 諮問委員会



報告を受ける諮問委員の皆さま



皆様は真剣に資料に目を通しています

▶ 指導者育成セミナー



会長幹事会の点鐘



クラブを支える会長幹事のみなさん



指導者育成セミナー基調講演「Unite for good」

▶RI理事エレクト歓迎会



RI理事エレクトの四宮孝郎様のあいさつ 地区外来賓者のみなさまに青森RCが育てた奉仕のリンゴを!!



歓迎会は
各テーブルを
超えて
親睦の場に

大会2日目 10月26日(日)

▶本会議



地区大会川村実行委員長より開会のことば



坂井青森モーニングクラブ会長より歓迎のことば



御来賓の青森商工会議所倉橋会頭からは示唆に富んだ祝辞



記念事業として青森市へ音響機器の贈呈

▶RI表彰



RI表彰の10クラブ おめでとうございます

▶地区表彰



地区表彰の会員増強クラブ

▶ガバナー特別表彰



ガバナー特別表彰

▶ポリオ活動



ロビーではポリオ奉仕活動も

▶記念講演



記念講演は第七代ねぶた名人の竹浪比呂央氏による「ねぶた その造形と表現」

▶次年度開催PR



次年度地区大会は弘前西ロータリークラブがホストクラブ

▶大懇親会



大懇親会のオープニングは米谷ガバナーの
卓越した技の披露



衣装もそのまま四宮PI理事エレクトへ記念品



花田副ガバナーへも感謝の記念品



地区のグローバル水事業の
第3330地区パストガバナーと絆の握手



米山奨学生から夢の挨拶



いよいよ全員参加の
ロータリークイズのスタート



ロータリークイズはガバナーと
熾烈な戦い



クイズのチャンピオンに記念品



JCはやし隊のねぶた囃子にじゃわめぎ、跳ねる跳ねる

2025－26年度地区大会in青森 開催御礼

地区大会実行委員長 **川村 智**
(青森モーニングRC)

去る、10月25日(土曜日)と同26日(日曜日)の2日間にわたり国際ロータリー第2830地区大会in青森を開催いたしました。当日は334名の参加登録をいただきました。ご参加のロータリアンの皆様に感謝申し上げます。また大会の開催準備や当日の運営にご協力いただいたコ・ホストクラブには、本当にお世話になりました。

1日目は、リンクステーションホール青森において各種委員会を皮切りに、会長幹事会、指導者育成セミナーとなりました。基調講演をお願いした国際ロータリー理事エレクト四宮孝郎様(大阪西南ロータリークラブ)より、「UNITE FOR GOOD」のテーマのもと国際ロータリーの現状や活動を通して得られた貴重なお話を伺うことができ深く感謝申し上げます。この後、パストガバナーの皆様をパネリストに加えたパネルディスカッションでは、今年度地区スローガン「ロータリーの不易流行」のテーマのもと、ロータリー活動の基本とは何かということについて、理解を深めることができました。この後、ホテル青森で「RI理事エレクト歓迎会」を開催し、アトラクションでは、八戸市の杉本ご夫妻のユニット「ハルモニア」によるピアノとサクスの演奏で盛り上がりしました。

2日目は、ホテル青森において、開会セレモニー、委員会報告、各委員会からの発表が行われ、情報共有を図る場となりました。記念講演では、第7代青森ねぶた名人の竹浪比呂夫様よりご講演をいただき、青森ねぶたの歴史や造形の可能性について、理解を深めることができました。

エクスカーションでは、参加された、四宮理事エレクトのパートナー庸子様が、棟方志功の大ファンとお伺いしておりましたところ、コースに入っていた、県立美術館でタイミングよく「棟方志功没後50年記念展 青森の子 世界のムナカタ」が開催されていたため、とても喜ばれたことと存じます。

プログラムの最後を飾る、大懇親会のアトラクションでは、米谷恵司ガバナー自ら、合気道7段の腕前を披露されたほか、中グループロータリアンが多数所属している青森青年会議所の「JCはやし隊」によるねぶた囃子の披露により、青森らしさを感じていただけたものと存じます。

末筆にあたり、改めて大会開催にご協力いただいた関係各位に感謝申し上げますとともに、不行き届きの点については、何卒ご容赦賜りますようお願い申し上げます。また、各クラブのご隆盛とロータリー活動が成果を収められますことを、衷心よりご祈念申し上げ、開催御礼といたします。



ロータリー財団委員会からの報告とお願い

財団委員長 工藤 真人
(青森RC)

1. 財団セミナーの開催

本年度は下記のとおり2回の財団セミナーを開催します。

- ・第1回: 7月13日(開催済)
- ・第2回: 12月7日

各クラブより多くのご参加をいただき、ロータリー財団への理解と関心が一層深まりました。このセミナーを受けないと地区補助金の申請ができませんので必ず参加してください。

2. 寄付0クラブをなくす取組

本年度の重点目標として、「寄付0クラブをなくす」ことを掲げております。

地区全体で寄付推進活動を進め、すべてのクラブが財団への寄付に参加できるよう努めてまいります。

3. 地区補助金の申請状況

今年度は、40クラブ中33クラブより地区補助金の申請がありました。

多くのクラブが積極的に地域奉仕活動に取り組んでおり、地区としても大変心強く感じております。

各クラブの主な取組例としては、次のような事業が実施される予定です。

- ・読書感想コンクール
- ・地域清掃活動や水環境保全を通じた地域交流促進
- ・障がいのあるお子さんなどが参加したユニバーサル野球大会
- ・学校に図書への寄贈

これらはほんの一部の活動例ですが、地区補助金を有効に活用しながら、地域に根ざした奉仕の実践を具現化するものとなっています。

4. 国際支援・人道的支援事業

本地区では、以下のような国際支援および人道的支援事業を実施・予定しております。

- ・ウクライナ国内避難民および子どもたちの心理的回復支援
- ・パキスタン・カラチにおける感染症予防・治療プログラムおよび医療システム強化
- ・木下裕隆氏(ペンシルバニア大学麻酔科)留学支援
- ・イングランド・フィリスタックウェル・ホスピス整備支援
- ・タイ3330地区への水事業支援

5. ポリオ関係

ポリオ根絶活動は、ロータリー財団の最も重要な使命の一つです。

本年度も、世界ポリオデー(10月24日)を中心に、各クラブで啓発活動や募金活動が展開されました。

また、本地区からもパキスタンで行われるポリオワクチン投与活動に参加するメンバーを派遣する予定です。

現地の子どもたちに直接ワクチンを投与し、ポリオ根絶の最前線を支援するこの活動は、ロータリアンの奉仕の精神を世界に示す貴重な機会となります。

地区としても、引き続きポリオプラスへの寄付と啓発活動を推進し、「ポリオのない世界」の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

6. ロータリーカードの活用

ロータリーカードは、日常生活の中で使用するだけでロータリー財団への寄付につながる、便利で効果的な支援の仕組みです。

カード利用額の一部が自動的に財団へ寄付されるため、特別な手続きをすることなく継続的に社会貢献ができるという大きなメリットがあります。

さらに、カードの利用実績はクラブの寄付実績にも反映され、地区全体の財団支援体制を強化することにもつながります。

会員の皆様には、ぜひこのカードをご活用いただき、日常の消費を通じて奉仕の輪をさらに広げていただきますようお願い申し上げます。

結びに

ロータリー財団の活動は、会員の皆様のご寄付と奉仕の心によって支えられています。

今後とも引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

委員会活動

米山フォーラム2025開催

米山記念奨学委員長 佐藤 一尚

(青森RC)

日頃より、米山記念奨学委員会が行う事業や活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る10月4日(日)ホテル青森において、米山に対する更なる理解の促進を目的とした米山フォーラム2025を開催しました。青森東ロータリークラブでお世話され、現在関西学友会会長をお務めの呉偉偉さんから自身の米山奨学生や学友としての経験をもとに「かけがえのない縁と絆」と題し、お話を頂きました。『私たちの出会いは世界人口分の1の確率という貴重な縁を頂ける』と仰っていたのが印象として残っており、出身国や文化など違いはあれど、米山奨学制度という貴重なカリキュラムの中で米山奨学生は素晴らしい成長を遂げられ、お世話するクラブやカウンセラー、地区委員といった関わる人も自身の考え方や人生観などが感化されます。呉さんのお話を聞き、改めてこの活動に参加出来る事に感謝をした一面でした。

その後は、初の試みとして危機管理についてのグループディスカッションを行いました。各テーブルに「自然災害」「健康被害」「事故」「重大事件」のテーマを振り分けた話し合いの場を設けましたが、米山奨学生がカウンセラーや地区委員などのテーブルメンバーと対等に意見を出し合っている姿は、頼もしい一言でした。多少たどたどしい日本語での説明ではあっても、自分の意見を通すという言動は遅いと感じました。そして、交流会では、参加者がそれぞれの話で盛り上がり、ディスカッションの結果発表をするなどを行い、最後は和やかに終える事となりました。ご参加頂いた皆様に、改めて感謝申し上げます。当委員会のアドバイザーである佐々木PGよりヨーグルトの差し入れを頂きました。この場を借りて、佐々木PGには改めて感謝申し上げます。

この米山フォーラムが終わると、当委員会は新学年度への活動に移行します。12月には面接選考会、その後各クラブへのお世話依頼などの作業を行います。この場を借りて、各クラブの皆様をお願いしたいのは、是非新学年度の米山奨学生の受け入れに積極的に関わって欲しい、そして米山奨学生とのお世話を通じて、更に米山の活動に対するご理解を深めて欲しいと考えております。この貴重な縁に是非とも挑戦して頂ける事を切にお願い申し上げます。引き続きの当委員会に対しご理解とご協力をお願い申し上げ、米山フォーラム2025の報告とさせていただきます。



委員会活動

地区大会報告

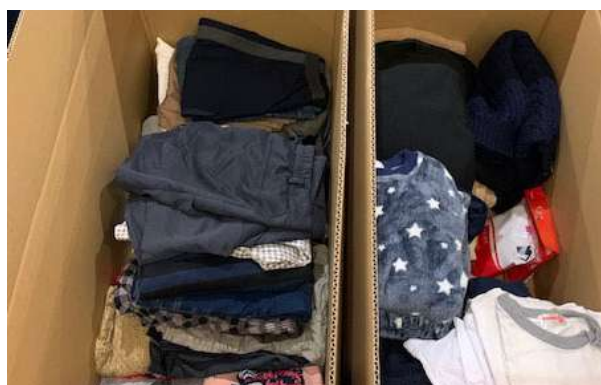
ポリオプラス委員長 木皮 美賀

(五所川原イヴニングRC)

8月に発生した洪水により、パキスタン北西部のカイバル・パクトゥンクワ州では多くの方が厳しい避難生活を余儀なくされている。現地のポリオプラス委員会から、冬を迎える前に防寒用品の支援物資依頼がありました。ポリオジャパンは10月から4月にかけて10回ほどワクチン投与に出向きますので、その際に自ら現地へ搬送します。2630地区でも、11月8日から12日まで、パキスタンに向かいます。その際に私たちが搬送いたしますので、支援物資のご協力をお願いしました。地区大会に持参して頂いたり、各クラブから送って頂き、大変多くの支援物資が集まりました。ありがとうございました。大小合わせまして70箱となりました。皆様の温かいお気持ちをパキスタンにお届けさせていただきます。

また、ポリオ募金も沢山集まりました。ありがとうございました。

8月18日	むつ・むつ中央合同例会	16,425円
10月19日	ポリオウォーク 中グループ合同	53,445円
10月19日	ポリオウォーク 八戸ロータリークラブ	24,843円
10月25,26日	地区大会	167,459円





RLI参加のお願い

RLI委員長 三浦 真介

(弘前RC)

11月29日(土)～30日(日)、青森市のはまなす会館にてRLIを行います。

先般の地区大会にても呼びかけさせていただきましたが、前回5月に行わせていただいた際と同様に参加返信状況が芳しくなく、運営にもファシリテーター(セッションを進める役割の者)の養成にも甚だ苦慮しているところでございます。

多くの会員にとってロータリーとは誰かに誘われて入会し、言われるままに例会等に出席しているうちに自ずと財団や米山云々という用語も耳に馴染んでくるようになり、延いては地区や国際といった視野も芽生えてくるようになるのかもしれませんが、実際には国際ロータリーから地区を通じて各クラブへと体系的に伝えられ、理解されるべき方針や目標や知識等が豊富にあり、しかも文字通りの不易流行の精神をもって議論が重ねられてきているのです。

私どもファシリテーターもそうした目まぐるしく変遷する時代状況の中で学び続けていかななくてはならないわけですが、ロータリアンは一方的に情報を受け取って納得したつもりになるのではなく、それぞれの拠って立つ現状の中から国際ロータリーの指し示す方針や地区の掲げる目標等と真摯に向き合い、意見を伝え、差し出された方針や目標が独り歩きしたり空回りしたりすることなく確かな運動として進められていくように能動的に参画していく使命があります。

退会する会員や出席率の低い会員等の懸念を抱えているクラブは少なくないものと思いますが、その原因の一つとしてロータリーの活動や運動への確かな理解や信頼の不足であったり、国際ロータリーや地区との距離感による当事者意識の欠如といったような部分もあるのではないかと思います。

RLIはそうした不確実な思いや疑念を言葉にし、問題点を明らかにして方向性を見出したり、或は他のクラブ会員との同意や共感を得たりしていくことによって不安や不信を晴らしていく契機ともなり得る場であり、会長幹事のみならず、新人からベテランも含め多くの会員に参加していただく意義のある学びと気付きの機会です。

是非とも各クラブの活性化に寄与する会員育成のためにRLI各セッションへのご参加を切にお待ち申し上げます。

弘前ロータリークラブ創立70周年記念式典 ならびに祝賀会

日 時 2025年9月27日(土)
場 所 弘前文化センター 大ホール・フォルトーナ



弘前ロータリークラブは、本年9月23日をもちまして創立70周年を迎えました。これを記念し、9月27日に弘前文化センター大ホールにおいて記念式典を開催。総勢179名のご登録をいただき、盛大に節目の行事を執り行いました。

式典ではまず、弘前市長 櫻田宏様、弘前商工会議所会頭 今井高志様、国際ロータリー第2830地区ガバナー 米谷恵司様より、温かいご祝辞を賜りました。それぞれのご挨拶には、これまで地域社会の発展と奉仕活動に力を注いできた本クラブへの労いと、さらなる飛躍への期待が込められておりました。

続いての特別記念講演では、音楽評論家の西 耕一(にし こういち)様をお迎えし、「弘前から世界へ! 菊池俊輔の音楽人生」と題してご講演いただきました。弘前市出身であり、数々のテレビ・映画音楽を手がけた作曲家・菊池俊輔氏の足跡を、豊富な資料とともに情熱的に語っていただき、参加者一同、郷土から世界へ羽ばたいた音楽人の偉大さを改めて実感いたしました。

また、菊池氏の母校である弘前市立大成小学校の大成ブラスバンドの皆さんが出演し、菊池俊輔氏が作曲した「ドラえもん」「暴れん坊将軍」「Gメン'75」など、誰もが耳にしたことのある名曲を披露。若さあふれる見事な演奏に、会場中が笑顔と拍手に包まれました。

式典後は、会場をフォルトーナに移して祝賀会が開催されました。山崎淳一パストガバナーのご挨拶に続き、スポンサークラブである青森ロータリークラブ 佐藤一尚会長のご発声による乾杯で開宴。弘前大学囃子組による迫力あるねぶた囃子の演奏が披露されると、賑やかで和やかな交流の場となりました。

創立70周年という節目を、地域の皆様、関係クラブの皆様とともに祝うことができたことは、私たちにとって大きな喜びであり、誇りでもあります。これまで支えてくださったすべての方々に感謝申し上げるとともに、次の80周年、そして100周年へと続く道を見据え、奉仕の精神を胸に、より一層地域社会に貢献できるクラブとして歩みを進めて参りたいと思います。



各クラブの動き

高野孫左エ門さんをお迎えして

ロータリーの友地区代表委員 **田中 正子**
(青森RC)

10月23日(木) 12:30-13:30 ホテル青森3階

青森ロータリークラブ例会

ゲスト卓話 高野孫左エ門

ロータリーの友委員会 委員長
一般社団法人 ロータリーの友事務所 代理理事
第2620地区(山梨県・静岡県)2012-2013年度ガバナー

『ロータリーの友、学び考え語り合おう』のテーマで30分間をいただきました。

7月1日に東京プリンスホテルで開催された会議で高野氏に卓話を直談判。この日実現と相成りました。

前夜は青森クラブメンバーの秀寿司さんで、高野氏を囲んでの懇親会。10月25日、26日の地区大会も迫ったこの日程ではありましたが、米谷恵司ガバナーと花田勝彦パストガバナーも揃ってご出席下さいました。第2830地区ロータリーの友地区代表冥利に尽きる2日間でした！

高野様、お忙しい中ではるばるとありがとうございました。



✂ ガバナー公式訪問

■むつ中央ロータリークラブ 9月24日(水)

会員同志の仲が良く、多彩な奉仕活動を実施しているクラブです。例会でのクラブ歌の歌唱も印象的でした。会員増強に向けて個人・個人事業主の会費見直し等工夫がみられ、当日は新会員1名の入会式が行われました。本年創立40周年を迎えたのを機に、前川原会長・千葉幹事を中心に一層の飛躍を期待します。



■六ヶ所ロータリークラブ 9月25日(木)

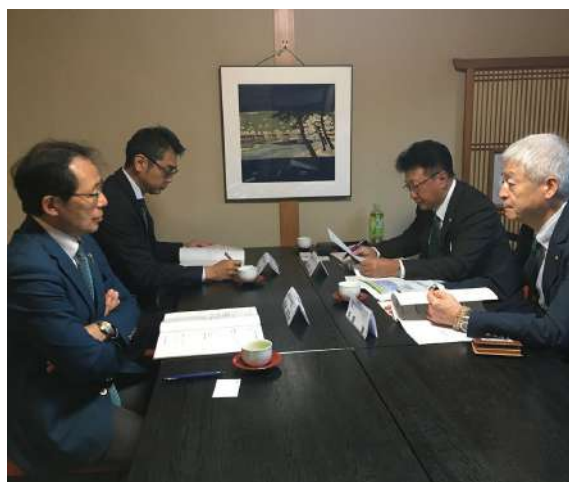
ガバナーノミニー輩出クラブだけに、公式訪問例会の雰囲気も熱意を感じました。クラブ初となるサラリーマン会長さんの活躍が楽しみです。



■弘前西ロータリークラブ

9月30日(火)

工藤武重PG、成田俊介GEのホームクラブ。例会では西クラブ名言集の唱和、黒髭ゲームでWCS献金者決定等ユニークな取り組みがあり、独自の歯車奨学金制度も継続実施しています。来たる成田俊介ガバナー年度に向けて、倉橋会長・中畑幹事を中心に「仕事を与えればまとまるクラブ(工藤PG談)」の本領発揮を期待します。



■五戸ロータリークラブ

10月1日(水)

会員の高齢化が進む一方、ベテラン揃いで結束も固くしっかりとクラブ運営されており、剣道教室の開催や相撲大会他地元行事の協賛など地域に根差した様々な活動を展開しています。当日は新会員の入会もあり、三浦会長・豊田幹事を中心に来年の創立60周年に向けて一層のクラブ活性化が期待されます。



■八戸西ロータリークラブ 10月2日(木)

会員の6割が女性会員という創立10周年を迎えるクラブ。

年齢構成も偏りがなく、まさにDEIのお手本のようなクラブでした。



■青森モーニングロータリークラブ 10月7日(火)

やっとホームクラブに戻って参りました。

米谷ガバナーの笑顔もほっこりしていますね。



■鶴田ロータリークラブ 10月14日(火)

会員数8名中、シニア会員1名、家族会員1名。当日7名の出席でした。

3名の会員で会長、幹事を担っているというとてもタイトなクラブであります。何とか近隣クラブとも情報交換して若い会員に入会していただきたいものです。会員全員まだまだ元気うちに・・・



公式訪問にご協力いただき、ありがとうございました。



会員動向

入会者



笹森 太二
(むつ中央RC)
9月24日入会



久野 政哉
(十和田八甲RC)
9月 1日入会



今 雄人
(十和田八甲RC)
9月 1日入会



石川 陽一
(青森RC)
9月25日入会



鈴木 陽大
(八戸RC)
9月 3日入会

退会者

クラブ名	氏名	退会日
青森	片桐 在	9月24日

米山記念奨学会寄付

<米山功労者>



西田 文仁
(青森RC)
第1回

2025年9月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	9月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ	3	100.00	50	0	0	50	3	50	0	0	30.00
	(うち、むつ大畑)			(8)	(0)	(0)	(8)	(1)	(8)	(0)	(0)	
	野辺地	4	85.40	14	0	0	14	3	14	0	0	92.86
	七戸	2	73.33	15	0	0	15	2	13	2	0	13.33
	東北	3	79.17	16	0	0	16	2	16	0	0	87.50
	むつ中央	3	63.00	19	1	0	20	0	19	1	0	10.00
	六ヶ所	4	57.00	38	0	0	38	1	36	2	0	26.32
	小 計			152	1	0	153	11	148	5	0	
東第二グループ	三沢	3	70.00	21	0	0	21	1	21	0	0	42.86
	十和田	3	46.00	32	0	0	32	7	33	2	3	31.25
	十和田東	4	45.00	28	0	0	28	5	28	0	0	50.00
	おいらせ	1	67.00	6	0	0	6	0	6	0	0	50.00
	三沢東	3	72.40	36	0	0	36	4	36	1	1	30.56
	十和田八甲	3	53.00	80	2	0	82	1	80	3	1	40.24
	小 計			203	2	0	205	18	204	6	5	
西第一グループ	五所川原	4	60.60	59	0	0	59	7	60	0	1	69.49
	金木	4	72.00	11	0	0	11	1	12	0	1	16.67
	鰯ヶ沢	2	68.80	16	0	0	16	2	16	0	0	43.75
	鶴田	2	78.57	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	48.00	24	0	0	24	2	24	0	0	50.00
	つがる	4	68.10	33	0	0	33	0	34	0	1	33.33
	五所川原イヴニング	2	44.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小 計			176	0	0	176	20	179	0	3	
西第二グループ	弘前	3	67.40	48	0	0	48	5	50	0	2	47.92
	弘前東	2	50.00	8	0	0	8	5	9	0	1	37.50
	板柳	2	85.00	10	0	0	10	2	8	2	0	20.00
	黒石	3	41.00	23	0	0	23	3	23	0	0	47.83
	大鰐	3	65.00	10	0	0	10	0	9	1	0	30.00
	弘前西	2	100.00	30	0	0	30	5	29	1	0	56.67
	平賀・尾上	2	27.70	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	66.00	15	0	0	15	2	15	0	0	73.33
	小 計			153	0	0	153	22	152	4	3	
中グループ	青森	4	62.50	104	1	1	104	10	104	3	3	100.00
	青森北東	3	82.10	20	0	0	20	3	20	0	0	65.00
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	65.00	21	0	0	21	4	20	1	0	61.90
	小 計			151	1	1	151	18	150	4	3	
南グループ	八戸	3	67.50	67	1	0	68	0	63	6	1	38.24
	八戸東	4	100.00	51	0	0	51	1	46	5	0	54.90
	三戸	3	95.23	7	0	0	7	1	7	0	0	85.71
	五戸	3	79.00	12	1	0	13	1	12	1	0	50.00
	南部	2	77.00	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	3	60.50	39	0	0	39	7	38	1	0	53.85
	八戸南	2	65.80	41	0	0	41	13	39	2	0	87.80
	(うち、八戸南さくらエイト)			(11)	(0)	(0)	(11)	(11)	(9)	(2)	(0)	
	八戸中央	2	81.30	17	0	0	17	7	11	6	0	47.06
	八戸西	3	51.00	34	0	0	34	20	34	0	0	47.06
	小 計			277	2	0	279	50	259	21	1	
	合 計 40RC			1,112	6	1	1,117	139	1,092	40	15	51.75

※ () 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2025年6月末会員数です
7月1日の会員数は1,107名です
9月末現在の入退会人数です

地区行事予定 2025年11月／ロータリー財団月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(土)	むつRC創立65周年 第14回日本ロータリー学会全国総会	プラザホテルむつ ホテルレクストン鹿児島
2	(日)		
3	(月)	文化の日	
4	(火)	振替休日	
5	(水)		
6	(木)		
7	(金)		
8	(土)	パキスタンポリオワクチン活動 八戸西RC創立10周年	パキスタン・カラチ 八戸プラザホテル
9	(日)		
10	(月)		
11	(火)		
12	(水)		
13	(木)		
14	(金)		
15	(土)	八戸RC創立70周年	八戸グランドホテル
16	(日)		
17	(月)	第54回ロータリー研究会ならびに付属プログラム（～20日）	パシフィコ横浜、横浜ベイホテル東急ほか
18	(火)		
19	(水)		
20	(木)		
21	(金)		
22	(土)		
23	(日)	勤労感謝の日 第3回クラブサポートミーティング	Zoom
24	(月)	振替休日	
25	(火)		
26	(水)		
27	(木)		
28	(金)		
29	(土)	第1回RLI	はまなす会館
30	(日)	第1回RLI	はまなす会館

地区行事予定 2025年12月／疾病予防と治療月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(月)		
2	(火)		
3	(水)		
4	(木)		
5	(金)		
6	(土)		
7	(日)	第2回ロータリー財団セミナー ガバナーエレクト壮行会	ホテル青森
8	(月)		
9	(火)		
10	(水)		
11	(木)		
12	(金)		
13	(土)	米山奨学生面接選考会	ホテル青森
14	(日)		
15	(月)	第1地域「地区ガバナーサポートミーティング」	Zoomオンライン
16	(火)		
17	(水)		
18	(木)		
19	(金)		
20	(土)		
21	(日)		
22	(月)		
23	(火)		
24	(水)		
25	(木)	アクトの翼（～28日）	台湾・台北市及び宜蘭県羅東地区
26	(金)		
27	(土)		
28	(日)		
29	(月)		
30	(火)		
31	(水)		

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に!写真募集!!

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に載せてみませんか?
2024-25年度ガバナー月信同様に、各クラブでのロータリー活動を撮影した
写真で毎号の表紙を飾りたいと思います。

掲載希望の写真は、地区事務所に掲載希望月の前月15日までに写真データと
写真の内容を簡潔にまとめたものをメールでお送りください。



編集後記

地区最大の重要行事である地区大会が終わりました。

本会議ではRI・地区表彰にたくさんのクラブ・ロータリアンのみなさまが選ばれました。

改めておめでとうございます。

その舞台を見て、来年は私たちも・・・

と刺激を受けた方も多かったのではないのでしょうか?

心理学者アルバート・バンデューラは、自信(自己効力感)を高めるために最も効果的なのは
「達成経験」だと提唱しています。

達成感とは心の栄養ということですね。この積み重ねが米谷ガバナーの「不易流行」の新たな
流行につながると私は思います。

さて12月7日はガバナーエレクト国際競技会壮行会。

年度も折り返しの後半になりますが、寒さも増してきますので体調を崩さないようご注意ください。

最後に、月信発刊まで作成日数がタイトであったため遅れましたこととお詫びいたします。

ガバナー月信 編集後記担当 **石川 佳共子**
(青森ロータリークラブ)